

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月29日

上場会社名 養命酒製造株式会社 上場取引所 東名
 コード番号 2540 URL <http://www.yomeishu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩澤 太朗
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田中 英雄 (TEL) 03-3462-8138
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月31日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績 (平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,113	△1.0	427	25.6	552	21.8	379	24.0
25年3月期第1四半期	3,144	4.9	340	△18.9	453	△14.9	305	△5.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	12.62	—
25年3月期第1四半期	10.18	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	36,643	32,774	89.4
25年3月期	36,674	32,633	89.0

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 32,774百万円 25年3月期 32,633百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	18.00	18.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,930	3.7	550	△36.1	680	△31.6	450	△30.9	14.98
通期	12,710	5.5	1,890	10.9	2,110	8.9	1,340	7.8	44.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	33,000,000株	25年3月期	33,000,000株
26年3月期1Q	2,958,822株	25年3月期	2,957,892株
26年3月期1Q	30,041,759株	25年3月期1Q	30,043,684株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
5. 補足情報	7
(1) 生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)におけるわが国経済は、新政権による経済政策への期待感から円安・株高が進行し、景気回復の兆しが見られたものの、雇用や所得環境は厳しさが残り、欧州債務問題や新興国の景気減速に対する懸念等、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の関連業界におきましても、業種業態を越えた企業間競争の激化が続き、生活防衛意識や節約志向が続く厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、「持続的成長に向けた事業構造の変革」を基本方針とする中期経営計画の2年目として、「新規事業領域の拡大と成長性の確保」の各施策に取り組んでまいりました。「美容と健康」をテーマとした新商品を6月に発売するとともに、埼玉県鶴ヶ島市にある社有地における太陽光発電施設の7月の運転開始に向けた準備に取り組みました。また、「養命酒」の効率的な販売促進活動により、「養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築」に努めました。

当第1四半期累計期間の業績は、「養命酒」の売上が微減となり、売上高は3,113百万円(前年同四半期比1.0%減)となりました。利益面につきましては、広告宣伝費の効率的な活用により、営業利益は427百万円(前年同四半期比25.6%増)、経常利益は552百万円(前年同四半期比21.8%増)、四半期純利益は379百万円(前年同四半期比24.0%増)となりました。

セグメント別には以下の通りです。

①養命酒関連事業

主力商品「養命酒」につきましては、安定的な販売を堅持するため、効率的な販売促進活動に努め、引き続き「女は7の倍数、男は8の倍数」の節目年齢における養生を訴求するとともに、季節の変わり目における「胃腸の疲れ」や「ストレス」、「夏の暑さからくる疲れと胃腸虚弱」をテーマとしたテレビスポット広告やウェブキャンペーン、雑誌とのタイアップ広告、交通広告、ラジオ広告等を実施し、併せて店頭における販売促進活動を展開しました。特にウェブキャンペーン、交通広告やラジオ広告では、若年層や男性をターゲットとした訴求を行うなど、新たなユーザーの獲得に努めました。

また、「美容と健康」をテーマとした新商品の開発に取り組み、お酢をベースに美容成分を配合した微炭酸飲料「食べる前のうるる酢」と、ハーブとフルーツを組み合わせた美容のお酒「檸檬とハーブのお酒」、「林檎とハーブのお酒」を6月にそれぞれ発売しました。「食べる前のうるる酢」につきましては、関東1都6県のコンビニエンスストアで発売し、配荷に注力するとともに、認知度を高めるため積極的にテレビスポット広告を実施し、ウェブ、雑誌、交通広告等による訴求とサンプリングによる販売促進活動を展開しました。また、「ハーブのお酒」につきましては、「ハーブの恵み」に新商品「檸檬とハーブのお酒」、「林檎とハーブのお酒」の2種類を加え、小売店との商談に注力するとともに、店頭における露出向上やメインとなる女性ターゲット層に対する試飲会等、店頭販売促進活動を実施しました。

海外におきましては、東南アジア諸国を中心として各国の市場環境に即したマーケティング活動に取り組み、「養命酒」の理解と知名度の向上や効率的な販売促進活動に努めるとともに、「養命酒」以外の商品のテスト販売や現地需要の調査など輸出領域の拡大に向けた各施策に取り組みました。

インターネット通信販売サイト「Yomeishuオンラインショップ」につきましては、取扱品目の拡充や決済方法等の見直しに取り組むとともに「養命酒」のユーザーを対象とした販売促進キャンペーンやパッケージリニューアルキャンペーンなどの各種キャンペーンの実施に注力し、好調に推移しました。

以上の結果、「養命酒」の売上に「ハーブのお酒」、「食べる前のうるる酢」、「家醸本みりん」、「ミネラルウォーター」、「ドリンク剤」、「サプリメント類」の売上が合算いたしまして、養命酒関連事業の売上高は2,993百万円（前年同四半期比1.3%減）となりました。

②施設運営事業

「くらすわ」につきましては、開業3周年イベントを始めとして各種イベントの開催により集客に努め、長野県の地元産品の取扱拡充やデリカテッセンの開設、季節に合わせた料理メニューの充実などに取り組み、堅調に推移しました。また、駒ヶ根工場見学施設「養命酒健康の森」につきましても順調に推移し、施設運営事業の売上高は100百万円（前年同四半期比11.2%増）となりました。

③その他

不動産賃貸事業の売上高は20百万円（前年同四半期比12.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ31百万円減少し、36,643百万円となりました。これは主に売掛金が512百万円、投資有価証券が保有株式の時価評価の増加等により386百万円それぞれ増加した一方で、有価証券が債券の償還により397百万円、長期預金が500百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ172百万円減少し、3,868百万円となりました。これは主に固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が保有株式の時価評価の増加等により168百万円増加した一方で、未払法人税等が237百万円、賞与引当金が119百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ140百万円増加し、32,774百万円となりました。これは主に四半期純利益379百万円の計上と配当金540百万円の支払いにより利益剰余金が161百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が303百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年3月期決算短信（平成25年5月9日公表）において発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,291,869	3,197,497
売掛金	2,238,488	2,751,482
有価証券	3,101,357	2,703,564
商品及び製品	294,667	352,899
仕掛品	183,917	142,687
原材料及び貯蔵品	442,268	444,780
その他	250,230	288,430
流動資産合計	9,802,798	9,881,342
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,658,107	3,608,740
その他(純額)	3,376,905	3,355,741
有形固定資産合計	7,035,013	6,964,481
無形固定資産		
	24,483	24,070
投資その他の資産		
投資有価証券	14,342,697	14,729,360
長期預金	3,400,000	2,900,000
その他	2,076,666	2,151,119
貸倒引当金	△7,058	△7,058
投資その他の資産合計	19,812,305	19,773,421
固定資産合計	26,871,802	26,761,973
資産合計	36,674,600	36,643,315
負債の部		
流動負債		
買掛金	286,441	256,645
未払法人税等	372,461	135,328
賞与引当金	224,128	104,168
その他	1,494,103	1,490,752
流動負債合計	2,377,134	1,986,894
固定負債		
役員退職慰労引当金	48,350	48,350
その他	1,615,384	1,833,433
固定負債合計	1,663,734	1,881,783
負債合計	4,040,869	3,868,678

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	676,680	676,680
利益剰余金	31,645,365	31,483,697
自己株式	△2,885,173	△2,885,964
株主資本合計	31,086,872	30,924,412
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,546,858	1,850,224
評価・換算差額等合計	1,546,858	1,850,224
純資産合計	32,633,731	32,774,636
負債純資産合計	36,674,600	36,643,315

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	3,144,540	3,113,529
売上原価	1,012,111	990,834
売上総利益	2,132,428	2,122,695
販売費及び一般管理費	1,792,257	1,695,378
営業利益	340,170	427,316
営業外収益		
受取利息	12,575	10,666
受取配当金	99,539	113,823
その他	6,691	5,205
営業外収益合計	118,805	129,695
営業外費用		
支払利息	5,390	4,559
その他	60	39
営業外費用合計	5,450	4,598
経常利益	453,525	552,413
特別利益		
固定資産売却益	949	1,500
投資有価証券売却益	—	680
特別利益合計	949	2,180
特別損失		
固定資産除却損	949	84
特別損失合計	949	84
税引前四半期純利益	453,526	554,509
法人税、住民税及び事業税	137,000	141,000
法人税等調整額	10,822	34,418
法人税等合計	147,822	175,418
四半期純利益	305,704	379,090

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

セグメント別売上高内訳表

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	当第1四半期累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	前事業年度 自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
養命酒関連事業	3,031,227	2,993,025	11,585,098
養命酒	2,920,362	2,859,346	11,202,157
(うち輸出分)	(85,896)	(61,392)	(454,416)
その他	110,864	133,679	382,941
施設運営事業	90,127	100,222	379,714
その他	23,185	20,281	87,693
合計	3,144,540	3,113,529	12,052,507

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。